

氏名	吉田英統
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4196 号
学位授与の日付	平成22年 6月30日
学位授与の要件	医歯学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Frontal Assessment Battery and Brain Perfusion Imaging in Early Dementia (早期認知症におけるFrontal Assessment Batteryと 脳灌流画像)
論文審査委員	教授 阿部 康二 教授 伊達 勲 准教授 浅沼 幹人

学位論文内容の要旨

Frontal Assessment Battery (FAB) は前頭葉機能のスクリーニング法として有用であると報告されている。しかしその検査成績と関係する神経基盤は明らかではない。本研究では早期認知症患者において FAB の成績と関連する脳部位を同定するために、FAB 得点と脳灌流の関連を調べた。岡山大学病院ものわすれ外来を受診した 117 名（アルツハイマー病 51 名、前頭側頭型認知症 14 名、血管性認知症 13 名、レビー小体型認知症 7 名、精神疾患 7 名、軽度認知障害 11 名、正常対照 14 名）を対象として FAB と脳 SPECT（核種は ^{99m}Tc -ECD を使用）を施行し、そのデータを局所脳血流定量ソフトウェアプログラム 3DSRT を用いて解析した。FAB 得点は左側脳梁辺縁区域および左側中心前区域の局所脳血流量と中等度の正の相関を示した。FAB 高得点群と FAB 低得点群の比較では、低得点群で両側脳梁辺縁区域および左側中心前区域の局所脳血流量が有意に低値であった。本研究から FAB は主に脳梁辺縁区域および中心前区域、特に左側の機能を反映しており、前頭葉機能検査として妥当であることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、早期認知症患者において認知機能検査 Frontal Assessment Battery (FAB) の成績と関連する脳部位を同定するために、FAB 得点と脳灌流の関連を調べたものである。岡山大学病院もの忘れ外来を受診した 117 名（アルツハイマー病 51 名、前頭側頭型認知症 14 名、血管性認知症 13 名、レビー小体型認知症 7 名、精神疾患 7 名、軽度認知障害 11 名、正常対照 14 名）を対象として FAB と脳血流 SPECT（核種は ^{99m}Tc -ECD を使用）を施行し、そのデータを局所脳血流定量ソフトウェアプログラム 3DSRT を用いて解析した。その結果 FAB 得点は左側脳梁辺縁区域および左側中心前区域の局所脳血流量と中等度の正の相関を示した。FAB 高得点群と FAB 低得点群の比較では、低得点群で両側脳梁辺縁区域および左側中心前区域の局所脳血流量が有意に低値であった。従って FAB は主に脳梁辺縁区域および中心前区域、特に左側の機能を反映しており、前頭葉機能検査として妥当であることが示唆された。

よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。